

## 令和5年度第1回浜松市美術館協議会会議録

1 開催日時 令和5年8月24日(木) 午前10時から午前11時30分

2 開催場所 浜松市美術館 2階 講座室

3 出席状況

(出席委員 6人)

会長	内田 いず美	委員	荒川 朋子	委員	磯部 啓次
委員	今田 徹	委員	寛 有子	委員	山口 剛

(欠席委員 2人)

(出席者の職氏名)

市民部文化振興担当部長	鳴野 聡	浜松市美術館長	飯室 仁志
浜松市美術館長補佐	中村 真康	副主幹	市川 智久
副主幹	増井 敦子	指導主事	島口 直弥
指導主事	榛葉 公作		児玉 実佳
	内山 智恵		

4 傍聴者 0人

5 議事内容 審議事項

- (1) 会長の選出について
- (2) 会長職務代理の指名について
- (3) 令和4年度浜松市美術館事業報告及び内部評価について
- (4) その他

6 会議録作成者 美術館美術振興グループ 市川 智久

7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音有

8 会議録

- 1 開会 (中村館長補佐)
- 2 浜松市美術館協議会委員の委嘱書・任命書の交付
- 3 浜松市市民部文化振興担当部長あいさつ (嶋野部長)
- 4 浜松市美術館長あいさつ (飯室館長)
- 5 美術館協議会委員自己紹介
- 6 美術館職員紹介
- 7 議題
  - (1) 会長の選出について  
(内田委員が会長に選出され、委員全員と本人の同意を得る)
  - (2) 会長職務代理者の指名について  
(内田会長から今田委員を指名)
  - (3) 令和4年度浜松市美術館事業報告及び内部評価について  
(事務局より説明)
  - (4) その他  
(事務局より説明)

(質疑)

委員：第70回の市展について、作品シートの記入が少なかったのが廃止することとなったが、何か別の方法で対応するのか。

事務局：別の方法での再検討を考えています。継続するのであれば、周知方法などを見直していきます。

委員：正面が分かるように作品の底へ小さな矢印を貼ってもらうなどで良いのでは。

委員：各展覧会の目標人数の設定方法について説明願います。

事務局：同じような会期と、同じような種類の過去の展覧会を参考にしながら設定しています。

委員：カフェの要望があるが、美術館としての今後の対応はどのように考えていますか。

事務局：美術館は公園の敷地内に建てられて、都市公園法に基づき面積が決められています。現在、美術館の面積が法律の限界面積になっていまして、今後カフェ等の増設となると別の形で公園の敷地以外の所へ建てていくか、あるいは美術館を別の場所へ移設するかの対応になります。現在の建物の中で、例えば1階のロビーを改修するなどの対応であれば可能ですが、建物の年数を考慮した場合、建物改修を対応策として入れるべきかどうかを考えないといけません。改修箇所だけが新しく、残った箇所は築52年のままとってしまうので、やはり建物一体で考え、今後は次の美術館の構想に向けてステップアップをしていきたい。

委員：中野市長の構想の中では美術館を積極的に改修や新美術館にする考えはあるのでは。

事務局：市政方針の一覧が出て職員には配られて、その中で文化芸術の項目は載っていますので、美術の分野で浜松を盛り上げていきたいという考えは持っています。ただし、一足飛びに今すぐに新美術館構想とは難しいとは思いますが、今後も引き続きアプローチをかけていきたい。

委員：展覧会のテープカットに市長が来ることは可能ですか。

事務局：各展覧会において市長を含めて調整を行っています。市長もスケジュールがありますので、市長で都合がつかなければ、次に副市長という段階を踏んで調整を行っています。

委員：先程議論になった市展についてですが、作品の底に矢印を貼る意見がありましたが、美術館所有の作品ではないので直接職員が貼ることが難しい場合があるのでは。

委員：出品者本人に自分で貼ってもらえばいいのでは。

委員：出品時に矢印を貼る行為を拒む方もいるので、基本的には作品シートに記入させ、そして継続的に行うことにより浸透させることが大事だと思います。作品シートを出品者に記載してもらうことにより間違いを防ぎ、責任の所在もはっきりします。

8 閉 会 （中村館長補佐）

9 会議録署名人  
議 長

内 田 い す 美

